

宮田南小学校通信

インターネットトラブル学習 Part 2

荒牧先生から紹介があった「ネットの危険からお子様を守るために今、保護者ができること」について、19号に引き続き、お知らせします。

○ 家庭のルールを考えましょう

STEP1 初めてのインターネット期
サイトや動画の閲覧のみを許可し、SNS等は禁止

○ 利用時間を家庭で決める・生活のルールやリズムを守ることを前提に、利用時間を家庭で話し合ってから決め、インターネットを見て楽しみます。この段階では閲覧のみに制限しましょう。

☆ ルールの例

- ・ ゲームとネットを合わせて使っているのは1日 分まで。(本校では児童会の取組で60分です。)
- ・ 保護者にとわって、近くで使います。食事中や車の中では使いません。
- ・ 夜 時まで以降は使いません。リビングで充電します。(本校では見

童会の取組で午後8時30分までとなっています。)

STEP2 インターネットレベルアップ期・家族間に限って、メールの利用を認める

○ 家族限定でコミュニケーション
利用時間のルールを守れて、使い方に慣れてきたら、家族間でメールのやりとりをしてみよう。文章の書き方など、上手な気持ちの伝え方をアドバイスしましょう。

☆ ルールの例

- ・ 家の中ではリビングで使います。
- ・ 話しかけられたら手を止め対応します。
- ・ 決まった人からのメール以外、返信やアクセスはしません。
- ・ 変わったことや困ったことが起きたら、すぐに相談します。
- ・ 公共の場で利用するときは、ルールやマナーを守ります。

STEP3 SNSデビュー期
顔を知っている友人や知人に限定してメールやSNSの利用を認める

○ 友人知人とのやりとりもチェック
メールの利用になれたら、仲の良い友人や知人に限り、SNSやメールを許可します。家庭内のコミュニケーションを保ち、ときどきやり取りの様子を見せてもらいましょう。

☆ ルールの例

- ・ 自分や友達の個人情報(名前・住所・学校名など)、写真はネットに公開しません。
- ・ メールやSNSは実際に会ったことのある友達だけにします。
- ・ 自分が言われて嫌な事や悪口はSNSやメールで送りません。
- ・ 目的をもって利用します。目的を終えたらスマホから手を放します。

STEP4 SNSレベルアップ期(小学生には危険です。)
ネットを介して知り合う人とのコミュニケーションを認める

本来、家庭のルールや社会規範に加え、ネットの特性を理解できる段階になれば、広く活用を許可します。危険な行為や犯罪に巻き込まれることを防ぐために使い方を把握し、必要な注意やアドバイスをします。・・・保護者の責任です。